

# 願いを実現!



# 10/1から運行開始

かねてより患者さんから「こがねだ診療所にバス停が欲しい」との声がありました。

津保川台在住のある80代女性は、わかき・小金田線で国道156号線の「小金田」で降りて来られ、受診後はへび坂をも押し車を使い徒歩で自宅へ…と特にこの地域は深刻でした。

そこで2018年度自治体キヤラバンで、西部支所や西部ふれあいセンターへ往復利用できるよう「小金田」に2回停留のコース変更を要望しました。が、残念ながら見直しには至りませんでした。

2019年夏、友の会関西支部で路線バス停を実際に回ってみました。すると校

区内の医療機関でバス停が無いのはきつクリニック

とこがねだ診療所だけ、と判明。そこで、堂々と「こがねだ診療所にもバス停が欲しい!」の声を形にしよう、となった次第です。

まずは署名を集めるための要望書作り。利用したい人だけでなく、より多くの方に賛同してもらえよう、みんなで知恵を絞り考えました。

出来上がった『関シテイバス停留所の拡充を求める要望書』を全関支部会員に送付し、診療所の患者さんには受診時に署名をお願いすると、待合室の投函箱には皆さんの署名用紙が集まりました。

そして昨年の自治体キヤ

ラバン。こがねだ診療所バス停設置要望は、11/5の『関市の社会保障を良くする会との懇談会』の要望事項に盛り込まれ、同時にそれまでに集

まった280筆の署名用紙を都市計画課長に提出しました。

その後も署名活動は続き、強化月間に行った関支部役員と診療所職員合同の津保川台会員宅訪問では、5日間で85筆も集まりました。

また、現地に行くことはできず世界大会の雰囲気や会場の人の多さ、気温などを感じることはできませんでした。しかし、コロナ禍ならではの熱い思いや例年とは違った目線の活動の大切さを感じることもできました。

# 平和の波2020



岐阜勤労者医療協会では、毎年、岐阜民医連と共催で職員対象の平和学校を1年通じて開校しています。今年度は12名の職員が平和学校に参加し、原水爆禁止世界大会をはじめ岐阜空襲、各務原自衛隊基地、日本国憲法、731部隊、ビキニ環礁沖水爆実験などについて学んでいます。また、コロナ禍ではありますが、可能な限り岐阜市内の空襲跡見学、国民平和大行進などへの参加も行っています。初めてのオンライン参加となった平和の波2020原水爆禁止世界大会報告をご紹介します。

今年度はコロナ禍での開催

で、現地に行くことはできず

世界の大会の雰囲気や会場の人の多さ、気温などを感じることはできませんでした。しかし、コロナ禍ならではの熱い思いや例年とは違った目線の活動の大切さを感じることもできました。

各国の人々から平和への願い、核廃絶の必要性、活動に対する思いなどを聞くことができ、日本人だけではない世界の人々の願いなのだと感じました。被爆者の山田すみこさんのお話は、被爆だけでなく被爆後も大変つらい思いをされていながらも一生消えぬ怖さがあると聞き、胸が締め

付けられる思いでした。

特に印象に残った言葉は、『批准』です。核兵器のあらゆる活動を禁止する歴史上初めての条約である核兵器禁止条約は50か国が批准すれば発行されます。2020年8月現在調印82か国、批准国は45か国です。日本では、核兵器禁止条約に調印・批准を求める意見書は449自治体で採択され、岩手県では県議会を含む100%を達成しました。

岐阜では、現在18市町村が署名しており、残り5市町村です。県知事もまた署名していません。唯一の被爆国日本が批准していないのは悲しいです。

全日本民医連平和の波オンライン交流会では原水爆禁止日本協議会理事の前川史郎さんの講演がありました。現在、核兵器数は約13、410発あり、即発射できるものが1、800発もあります。数発でも現在の核兵器の威力は、甚大な被害をもたらすだけでなく重大な気候変動をもたらします。世界中の人々が平和を願う中でこれほどの核兵器が存在することに訴えや活動は無力なのかと感じます。

1980年代には8万発もあった核兵器を世界の市民の声で減らしてきたそうです。微力であっても無力ではないと知り感激しました。みどり病院では、『平和への



願いをかたちに」と題して、折り鶴の作品を作りました。これからも少しでも多くの方に平和の願いを伝えていければと思います。

(岐阜民医連 平和委員会)

# 介護の現場より

4月半ばに出された政府の緊急事態宣言を受けて「有料老人ホームすこやか」もご家族・ご友人の方の面会の自粛を要請させていただきましたことになりました。

当施設では、いち早くオンライン面会を導入し、ご家族と顔を見ながらお話ししてもらっています。遠く離れた家族との会話も手軽にでき皆さんから喜ばれています。

先日は、100歳の入居者さんと、新潟県の息子さんがオンラインで面会をし、息子さんの顔を見ると「少し痩せたんじゃないか?」と心配していました。



この状況がいつまで続くかわりませぬ。のか見通しが立ちませんが、少しでもお互いの心配を軽減できるよう工夫していきたいと思っています。

(有料老人ホームすこやか 施設長 湯本)

# 知って得する 社会保障

# 岐阜市東部事務所の窓口サービス機能が拡充されました

広報ぎふや地域の回覧などでご存じの方もいらっしゃると思いますが、9月1日より東部事務所での窓口サービス機能が拡充されています。

◎身体障害者手帳・療育手帳の交付申請・交付

◎重度障害者(児)タクシー利用料金助成認定申請の申請・交付

◎有料道路の障害者割引申請

◎障害福祉サービス利用の申請

◎福祉医療費受給者証の新規交付・再交付

◎後期高齢者医療の高額介護合算療養費等の支給申請

◎その他

これまで岐阜市役所本庁でしかできなかった手続きの一部が、東部事務所でもできる

ようになりました。特に、身体障害者手帳の交付申請のために本庁に行くことは障がいのある方にはとても大変で、相談室としても、ご本人より委任された場合、代理申請の対応を行ってまいりました。以前から、東部事務所でも福祉に関する手続きを扱ってほしいという声が多かったので、申請しやすくなりました。

(みどり病院 地域連携室 医療ソーシャルワーカー)

